

三原市立本郷小学校 第5学年 道徳の時間学習指導案
教材名：「うばわれた自由」

- 1 日 時 平成29年 5月15日(月) 第5校時(13:55~14:40)
2 場 所 [REDACTED]
3 学 年 [REDACTED]
4 主 題 名 本当の自由とは A-(1) 善悪の判断, 自律, 自由と責任

- 5 本時のねらい ガリユーの言った「本当の自由を大切に生きてまいりましょう。」の意味を考えるを通して、自由を大切に、自律的に判断し、責任のある行動をしようとする態度を育てる。
6 教材名 「うばわれた自由」(わたしたちの道徳)

7 主題設定の理由

(1) 主題について

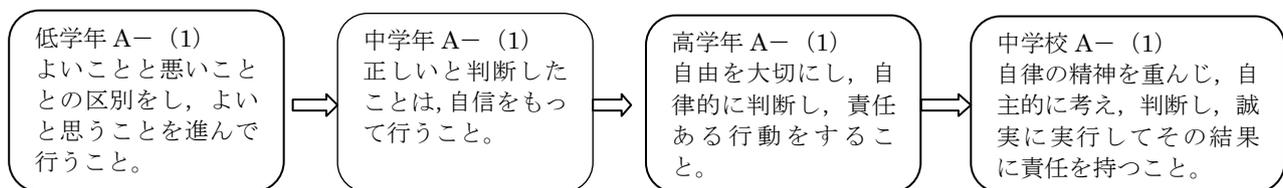
小学校学習指導要領解説特別の教科道徳編では「A 主として自分自身に関すること」の(1 善悪の判断, 自律, 自由と責任)の5・6年生指導内容項目の中で、「自由を大切に、自律的に判断し、責任ある行動をすること。」を取り上げている。

よいこと、正しいことについて、人に左右されることなく、自ら正しいと信じることに従って、誠実かつ謙虚に行動することは、人として重要なことである。特に、価値観の多様な社会を主体的に生きる上での基礎を培うために、よいことと悪いこととの区別が的確にできるように指導しておくことは重要である。

また、自己を高めていくには何物にもとらわれない自由な考えや行動が大切である。自由には、自分で自律的に判断し、行動したことによる自己責任が伴う。自分の自由な意思によっておおらかに生きながらも、そこには内から自覚された責任感の支えによって、自ら信じることに従って、自律的に判断し、実行するという自律性が伴っていなければならない。

児童の発達段階においては、自主的に考え、行動しようとする傾向が強まる時期である。一方で、自由の捉え違いをして相手や周りのことを考えず自分勝手な振る舞いをしてしまうこともある。また、自律的で責任のある行動をすることの意味やよさが分かりにくい児童もいる。よって、自由と自分勝手との違いや、自由だからこそできることやそのよさを考えたりして、自由な考えや行動のもつ意味やその大切さを実感できるように指導していくことが大切である。

【内容項目とその系統】



(2) 児童観

本学級の児童は、学級の仕事を率先して手伝ったり、友達が困っているときに進んで親切な行動をとったりする児童が多い。また、自分の決められたこと以外のことにも状況を考えて、率先して行動できる児童が多い。そのため、児童アンケートでも「よいことと悪い事を判断し、自分が正しいと思ったことを行っている。」と肯定的な回答をした児童が84%であった。

「自由」について、「遠足の時、自由にしていいですか。」といった発言のように、自分のしたいことをする自立と責任のない捉え方をしていることがある。アンケートからも「自由とはどういうことだと思いますか。」という問いに対して、91%の児童が「何でもできる」「自分の思うようにできること」といった回答をした。一方、「自分で判断して行動すること」「決まりを守って好きな事をする事」など、自律や責任を意識している児童もいた。

自由のすばらしさを踏まえながら、「自分のしたいことだけをする」という思いを優先させるだけではなく、本当に相手のことを考えた上で行動することや、自由の裏にある責任の大切さに気付かせたい。

(3) 指導観

本資料は、自分の思いのままに行動することが自由であると思っているジェラル王子に、その考えが誤っていることを森の番人ガリューが諭すが、聞き入れない。しかし、ジェラル自身も、国内の乱れがもとでとらわれの身となり、改めて真の自由の大切さを知るという構成である。王子と森の番人ガリューとのやりとりを通して、それぞれが考える自由の相違に気付かせ、本当の自由は何かを考えさせていきたい。そして、自分たちの生活を振りかえりながら、自由を大切にし、責任を踏まえた規律ある行動をしようとする心情を育てたいと考える。

指導にあたっては、導入で、「自由」に対しての今の自分たちのイメージを語り合う中で、児童間の認識の違いや疑問が出てくると考える。そこから問題意識をもって本時の学習に臨めるようにしていく。展開前段では、ジェラルの心情の変化を考えていきながら、「本当の自由」とは何か気が付く姿に共感させていく。その際、ジェラルの中にある人間的な弱さは誰にでもあることは押さえておく。中心発問では自分発見シートに自分の考えを書いてガリューの言う「本当の自由」について考えていくが、規則尊重や責任に偏ることのないように補助発問を交えながら、自由だからこそ大切にしていくものもあることとして考えさせていきたい。

まとめとしての展開後段で授業の初めの課題に返していきながら、あらためて自分を見つめながら「本当の自由」についての自分の新たな発見とそれまでの自分を書いていくようにする。そして終末において「わたしたちの道徳」を読み、余韻をもって終わっていく。

◎研究テーマとの関係

【研究主題】

- 「自他を尊重し、よりよく生きようとする児童・生徒の育成」
 ～自分・他者・地域との”つながり”を意識した道徳的実践を通して～
 「自分とのつながり」○自己を深く見つめさせる道徳授業の創造
- ・主体的に内面的な学びを深める課題設定・展開・終末のあり方
 - ・思いや考えを互いに表現し合える発問・指導方法の工夫

8 本時の展開

(1) 準備物

場面絵、掲示用の短冊、ワークシート（自分発見シート）

(2) 学習の展開

	学習活動	主な発問と予想される児童の反応	T1	T2	指導上の留意点 (※評価)
導入	1 「自由」について今の自分をふり返る。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 学校で1日「自由にすごしていい。」と言われたらどうですか。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・好きなことをする。 ・やりたいことを自由にする。 	板書	発問	<ul style="list-style-type: none"> ○「自由」について意見を交流させる中で、本時の学習への方向付けを行う。 ○ねらいとする道徳的価値に対しての問

		<ul style="list-style-type: none"> ・勉強をしなくてもいいの。 (明日も、明日以降も続いたらどう?) ・「自由」にしたいけど・・・だいじょうぶかな。 			<p>いをもたせていく。 ○自分発見シートに書かせ、展開後段での自分の思いと比較させる。</p>
<p>「自由」とはどんなものだろう。</p>					
<p>展 開</p>	<p>2 資料「うばわれた自由」を聞いて話し合う。</p> <p>3 「本当の自由」について考える。</p> <p>4 「自由」に対する、自分の新たな学びをまとめる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>ガリユーに「とらえてやる」と言われた王子は、どんなことを思ったのだろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・生意気な。やれるものならやってみろ。 ・王子に向かって無礼なやつだ。 ・どうしようと私の自由だ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>ガリユーは王子に対してどうしてそこまでいうのだろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・王子といえどもきまりは守らなければならない。 ・王子だからこそ、みんなのお手本にならない。 ・わがままは許してはいけない。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>しばらくの間だまり、そして、はらはらと涙を流すジェラルールはどんなことを考えているでしょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・もう手遅れだ。私の自由も奪われた。 ・ああ、私は自分勝手な行動をしていた。 ・自由とは何をしてもいいということではなかった。 ・本当の自由にもっと早く気が付けばよかった。 <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>ガリユーの言う「本当の自由を大切にすること」とはどういうことなのだろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・自分勝手にすることやわがままにふるまうことではない。 ・人に迷惑をかけない範囲で自由にふるまうこと。 ・人の自由を妨げないように自由にすること。 ・本当の自由は、他の人のことも自分のことも考えた上で自由にすること。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>「自由」について今日の学習で新たに発見したことを書きましょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「自由」は好きなことができる。と思っていたけど、自分を大切にしてこそ本当の自由だと思う。例えば自由に時間をつかってもいい 	<p>資料提示 発問</p> <p>板書</p> <p>発問</p> <p>板書</p> <p>発問</p> <p>板書</p> <p>板書</p> <p>発問</p>	<p>資料提示 板書</p> <p>発問</p> <p>板書</p> <p>板書</p> <p>発問</p> <p>板書</p> <p>発問</p>	<p>○T1, T2で資料を読む。人物の絵を貼って、場面の状況をとらえさせる。</p> <p>○双方に共感させていきながら、ガリユーとジェラルールの「自由」に対する捉えの違いが明確になるように板書していく。</p> <p>○身勝手な行動をしていた自分に対する後悔と同時に「本当の自由」に対して気が付き始めた王の気持ちに共感させ、中心発問につなげていく。</p> <p>○自分発見シートに自分の考えを書かせる。</p> <p>○「迷惑をかけない範囲を詳しく言う」と等補助発問で深めていく。</p> <p>○規則尊重のみに偏った場合は「決まりを守れば自由なの」等揺さぶりをかけ、ねらいに迫る。</p> <p>○児童から出た意見と初めのわたしの思いとを比較させ、何が違うのかに気付かせるように構造的な</p>

		<p>けど、好きなことだけをして、宿題などやらなければならないことをしないのは本当の自由とはいえない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自由」だからと言っては自分だけのことばかり考えるのではなく、周りのことを考えることが大切。例えば、図書館で自由に本を読んでいる時、楽しくて声に出して読みたくてもまわりのことを考えて静かに読んでいる。 		<p>板書をする。(UD⑨ 視覚化)</p> <p>※自由の意味を通して、自分を律し、責任をもつことの大切さを考え、自分なりに発展させていこうとしたか。(ワークシート 発表 見取り)</p>
終末	4 「わたしたちの道徳」を読む。	自分を律すること 責任をもつこと	進行	○「わたしたちの道徳」P32を読み、余韻をもって終わる。

9 板書計画

森の番人
ガリユール



本当の自由

- ・自分勝手やわがままとは違う。
- ・人に迷惑をかけない範囲で自由にできる。
- ・人の自由をじやましてはいけない。
- ・自分も大切に
- ・他の人も大切に
- ・自分のために自由にできる。



うばわれた自由

「自由」とはどんなものだろう

ジェラール王子



「本当の自由を大切に生きてまいりましょう。」

はらはらと涙を流すジェラール

私の自由も奪われた。
私は自分勝手だった。
国が乱れてしまった。
自由は何をしてもいいということではなかった。
本当の自由~~に~~気が付いた。

生意気なやれるものなら、王子に向かって無礼なやつ。どうしようとするの自由だ。

好きなことをする
やりたいことができる。
勉強しなくていい。
だいじょうぶかな。
勉強は？

王子といえども、きまりはみんなの手に。だれもが同じ。わがままは許してはいけない。